

幅広い病害対応 園芸用殺菌剤

三井化学アグロ

三井化学アグロ(株) (東京都中央区) は園芸用殺菌剤のフロアブル剤「ベジセイバー」を発売した。写真。有効成分として、糸状菌と担子菌に働くペンチオピラドと卵菌類と糸状菌に働くクロロタロニル (TPN) を組み合わせて配合したことで、幅広い病害に効果を持たせた。

ペンチオピラドは一部の菌で感受性の低下が

みられるが、抵抗性菌がないTPNで補い、薬剤抵抗性菌に対応させた。

予防的に使う。ペンチオピラドは菌の呼吸を阻害し、TPNはエネルギー代謝系の酵素を阻害する。互いに効果を補うことでうどんこ病や灰色かび病、べと病などの幅広い病害に効果を持たせ

た。TPNは葉面に膜を作り長期間病害の感染を予防する。

10リットルあたり1000〜3000リットルを10000倍に希釈して散布する。キュウリ、トマト、ナス、ピーマンでは収穫前日まで使える。8品目で登録があり、同社は適用を拡大していく予定。

1瓶500リットル入りで販売する。

問い合わせは同社、(電) 03(5290)2751。

